

# 大宅小中ブロック CAN-DO リスト

小学校英語・中学校外国語科

学習到達目標

文部科学省指定「令和3年度 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業」

<大宅小中・英語教育連絡協議会 目標>

## 言語活動を通して主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童生徒の育成



☆英語を通して、他者・地域・世界と主体的に関わろうとする態度を養う。

☆目的や場面、状況等を意識しながら、自分の考えや理由を進んで表現したり、伝え合ったりする力を育成する。



【中学校卒業時の目標】 地域や世界との関わりを意識しながら、社会的な話題について主体的に自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

		聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
中 学 校	3 年	○はっきりと話されれば、ディベートやディスカッションでの相手の意見や短いニュースなど、話し手の主張や社会的な話題について、話の要点をとらえることができる。	○ある意見に対する主張や短いニュースなど、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 (～500 語程度)	○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を用いてディベートやディスカッションができる。	○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由など、構成を工夫しながらまとまりのある内容を話すことができる。	○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由など、構成を工夫しながらまとまりのある文章を書くことができる。 (～40 語程度)
	2 年	○はっきりと話されれば、将来のことや地域のことなどの日常的な話題について、話の概要をとらえることができる。	○将来のことや地域のことなどの日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 (～350 語程度)	○日常的な話題について、事実や自分の考え、その理由や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	○日常的な話題について、事実や自分の考え、その理由や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	○日常的な話題について、事実や自分の考え、その理由や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 (～30 語程度)
	1 年	○はっきりと話されれば、身近な人のことや休暇中の出来事などの日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	○身近な人のことや休暇中の出来事などの日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 (～200 語程度)	○関心のある事柄について、話し手に質問や感想を返したり、反応を示したりしながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	○関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて、相手に伝わりやすいように工夫して話すことができる。	○関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて、正確に書くことができる。 (～20 語程度)

【小学校卒業時の目標】 他者や相手との関わりを意識しながら、自分のことや身近な事柄について主体的に自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

		聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
小 学 校	6 年	○アルファベットの文字の音声を聞き分けることができる。 ○ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な話の概要を捉えることができる。	○アルファベットの文字を見て、その音声が分かり、発音できる。 ○簡単な語句の発音を推測できる。 ○身近で簡単な語句や表現の意味が分かる	○自分のことや身近な事柄について、話し手に質問や感想を返したり、反応を示したりしながら、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	○自分の考え・気持ち、その理由などを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝わりやすいように工夫して、紹介したり発表したりすることができる。	○語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を正しく書き写すことができる。 ○例文を参考に、自分の考えや気持ちを書くことができる。
	5 年	○アルファベットの文字と音を一致させることができる。 ○ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	○アルファベットの文字を見て、その音が分かり、指導者に続いて発音できる。 ○十分に慣れ親しんだ、身近で簡単な語句や表現の意味が分かる。	○自分のことや身近な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手、他者に配慮しながら、主体的に自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	○自分の考え、気持ち、その理由などを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、紹介したり発表したりすることができる。	○アルファベットの文字を高さや気をつけて正しく書き写すことができる。 ○音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を、正しく書き写すことができる。
	3・4 年	○日本語と外国語の音声の違いに気付き、簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しもうとする。		○自分のことや身近な事柄について、相手のことを考えながら、自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。	○自分の考え、気持ちなどを、基本的な表現を用いて、紹介したり発表したりしようとする。	
	1・2 年	○自分のことや身近な事柄などの基本的な表現について、それらを表すイラストと外国語の音声を一致しようとする。		○自分のことや身近な事柄について、進んで自分の考えや気持ちを相手に伝えようとする。	○自分の作品について、基本的な表現を用いて、進んで相手に紹介しようとする。	

